

皆様

2017年5月1日
日本機械学会 関西支部シニア会
会長 城野 政弘
理工工作教室運営代表 土井 健志

日本機械学会関西支部シニア会：「親と子の理工工作教室」に対する御寄付のお願い

1. 趣旨

日本機械学会関西支部シニア会では、シニアの知識と経験を活かし、小学生に理工工作の面白さを体験させ、工学さらには機械工学に対する関心を持ってもらうために、有志が集まり、「親と子の理工工作教室」を2008年から開始しました。

活動開始以来9年を経過しましたが、毎回の教室では参加者の児童は勿論、同行の保護者の方々からも大変好評を得ており、2016年度末で児童の累計参加者は4,078名となっています。

教室のテーマは、機械の社会における役割とものづくりの楽しさを理解させることを基本とし、例えば、観覧車、浮沈子、回転ブランコ、よし笛、簡単モータ、プロペラカー、紙飛行機、ヘリコプター、歩行ロボット、ブラシカー、水力発電、リングモータ、ホーバークラフト、振動電車などがあります。教室は約20会場で年に40教室程度、各テーマは基本的にシニア会メンバー2～3名で実施しています。また、学生が補助者として参加するものもあり、シニアと学生と子供とその親という4世代に亘るコミュニケーションの場ともなっています。さらに、この教室において日本機械学会ジュニア会友への入会を働きかけ、2017年3月31日現在、累計138名の入会を実現しました。(活動の詳細は、関西支部ホームページ「シニア会理工工作教室」を参照下さい。 <http://www.kansai.jsme.or.jp>)

以上のように、本活動は日本の将来の科学技術を支える人材を子供の時から育成するという大変重要なテーマの一翼を担っていると自負しております。

この活動の成果が認められ、2014年3月に日本機械学会関西支部賞(貢献賞)、さらに2015年4月には日本機械学会教育賞を受賞致しました。現在本教室の参加者からは、世の中の趨勢に応じた興味深いテーマでもっと多くの教室を開催して欲しいという要望を受けております。関西支部シニア会を通して入会したジュニア会友会員も100名を超えたため、ジュニア会友会員に更に機械工学への関心を高めてもらうことを目的として、2015年度から『ジュニア会友教室』を開設しています。さらに昨年度も、大阪市教育委員会から要望のある大阪市内の小学校に対する「理工特別授業」に応募し、4校の250名余の児童に対し2テーマで8教室の授業を行い、先生や生徒から大変感謝されております。

以上のような活動の現状ですが、現状の費用は本部からの機械工学振興事業資金の助成金と本事業に対する皆様方からの御寄付、および関西支部からの交付金で運営しており、前者の機械工学振興事業助成金は、最近では低位のままで推移しており、支部の予算も他の行事との関係で制約があります。

そこで、上記の事情を御賢察いただき、本活動に対して御支援をお願いできる機械学会会員の方々に対して御寄付をお願いしたいと考えています。篤志家の方々から、下記の要領で御寄付を頂戴することに致しますので、御協力の程宜しくお願い申し上げます。

2. 御寄付の受付について

(1) 受付期間 … 2017年6月1日～2017年12月末日まで

※毎年7月末までのご入金者氏名・金額が学会誌9月号に掲載されます。

(2) 金額 … 1口 10,000円 (何口でもお申込みいただけます。)

(3) 送金手順

①別紙「[機械工学振興事業資金 特定資金寄付申込書](#)」に必要事項をご記入のうえ、本部へ送付してください。

郵送の場合：〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階

一般社団法人日本機械学会 財務グループ 宛

メールの場合：finance@jsme.or.jp , F A Xの場合：03-5360-3507

②ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票で、通信欄に「機械工学振興事業資金特定資金寄付金」と明記し、①の申込書送付日をご記入のうえ送金してください。

振込先：郵便振替 00130-1-19018 口座名義：一般社団法人日本機械学会

申込書ならびにご送金は必ずお一人ずつにして下さい。

- (4) 寄付金の活用 … 主に教室実施時の教材費用など、運営費用に充当させていただきます。
- (5) 本寄付金は、免税措置の対象事業ではありません。予めご了承下さい。
- (6) その他 … ご不明な点などがありましたら、下記までお問い合わせ願います。
- ・ 日本機械学会関西支部 メールアドレス：senior@kansai.jsme.or.jp

以上